



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東  
コード番号 5852 URL https://www.ahresty.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 成家 秀樹 TEL 03-6369-8660  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月5日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	77,750	16.9	601	—	938	—	900	—
2023年3月期第2四半期	66,536	21.8	△1,198	—	△820	—	△830	—

(注) 1. 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,290百万円 (△19.6%) 2023年3月期第2四半期 5,335百万円 (—%)

(参考) EBITDA 2024年3月期第2四半期 6,885百万円 (37.2%) 2023年3月期第2四半期 5,019百万円 (23.7%)

(※) EBITDA=営業損益+減価償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	34.82	34.59
2023年3月期第2四半期	△32.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	143,630	60,587	42.1
2023年3月期	137,069	56,649	41.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 60,469百万円 2023年3月期 56,527百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	10.0	2,400	—	2,200	—	1,400	—	54.16

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	26,076,717 株	2023年3月期	26,076,717 株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	455,282 株	2023年3月期	149,822 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	25,851,313 株	2023年3月期2Q	25,895,763 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢等の地政学的緊張による原材料、エネルギー価格の高止まり、インフレ抑制のための各国中央銀行による利上げや中国経済回復の鈍化などが下押し要因となり、減速感が強まる状況となりました。米国経済は、これまでの大幅な金利引き上げの効果が経済全般に広がり、来年前半には景気後退に陥る可能性が強まる一方、労働需給の引き締まりからインフレも粘り強く、政策金利は年内据え置かれる見通しとなっております。中国経済については、不動産部門の調整が長期化し景気減速感が強まる一方、インフラ投資やサービス消費が景気を下支えし、景気減速は緩やかなペースで進むと見込まれています。日本経済もサービス消費やインバウンド需要の復調が続くものの海外経済の減速が外需を下押し、今年度後半は低成長となる見通しであります。

このような経済状況の中、当第2四半期連結累計期間においては、自動車生産における半導体不足の緩和が世界的に進み、受注量が回復したことで、当社グループの業績も回復基調が鮮明になりました。アジアにおいては中国市場での日系自動車会社の現地メーカーとの競争激化等の影響を受けて苦戦を強いられましたが、全体的にはエネルギー価格等の高騰影響の価格転嫁が順調に推移したことや、また円安進行による為替差益の計上等も寄与し、営業損益、経常損益、当期損益とも黒字を計上することとなりました。また受注が回復する中でも引き続き効率的な生産体制づくり、社内の遊休設備の活用等による設備投資の抑制、電動車部品に強い顧客との新規取引や取引拡大等の事業体質強化策にも取り組んで参りました。

当社グループでは、当連結会計年度より2030年を目標年度とする長期経営計画である10年ビジネスプランと、その最初の3年間のマイルストーンとなる2224中期経営計画を推進しております。2224中期経営計画においては自動車の電動化の加速やカーボンニュートラルなどの外部環境変化を踏まえ、「低コストで生産性の高いものづくりの確立」「生産時のCO<sub>2</sub>排出量の削減」「電動車向け部品中心の事業ポートフォリオへの転換」を戦略の柱に据えて、売上高の確保、生産性の向上、稼ぐ力の強化に取り組んでおります。加えて今年6月には10年ビジネスプランの財務戦略を策定し、既に公表済の収益目標に加え、自己資本比率40%、配当性向35%、設備投資1,400億円、ROE9%達成を10年ビジネスプラン期間における4本柱の財務目標として掲げております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高77,750百万円（前年同四半期比16.9%増）、営業利益601百万円（前年同四半期は1,198百万円の営業損失）、経常利益938百万円（前年同四半期は820百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益900百万円（前年同四半期は830百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① ダイカスト事業 日本

日本自動車市場では、半導体供給の安定化により自動車の生産が回復した影響で受注量が回復し売上高は31,282百万円（前年同四半期比11.3%増）となりました。収益面においては、エネルギー価格等の高止まりはあったものの、受注量回復に伴う生産回復の影響により、セグメント利益は181百万円（前年同四半期はセグメント損失423百万円）となりました。

#### ② ダイカスト事業 北米

北米自動車市場では、半導体供給の安定化により自動車の生産が回復した影響で受注量が回復し売上高は22,971百万円（前年同四半期比35.0%増）となりました。収益面においては、労務費等の上昇による製造コスト増加はあったものの、受注量回復に伴う生産回復の影響により、セグメント利益693百万円（前年同四半期はセグメント損失713百万円）となりました。

#### ③ ダイカスト事業 アジア

アジア自動車市場では、中国市場において当社主要顧客の販売不振による受注量の減少影響はありましたが、インド工場における新規製品の量産が開始したことによる受注量の増加により、売上高は16,302百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。収益面においては、中国工場における受注量減少に伴う生産減少とインド工場における一部製品の生産が安定しないことに伴うコスト高の影響により、セグメント損失988百万円（前年同四半期はセグメント損失250百万円）となりました。

#### ④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、販売重量は前年同期比3.6%減となりました。売上高はアルミニウム市況下落の影響で3,509百万円（前年同四半期比10.5%減少）となりました。収益面においては、販売重量の減少と原材料費の高騰等の影響を受け、セグメント利益88百万円（前年同四半期比42.1%減）となりました。

#### ⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件等の受注が増加し、売上高は3,684百万円（前年同四半期比105.4%増）となりました。収益面においては、売上高の増加もあり、セグメント利

益は487百万円（前年同四半期比337.7%増）と安定的な利益を確保しております。

## （2）財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### （資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は143,630百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,561百万円の増加となりました。流動資産は63,627百万円で、前連結会計年度末に比べ2,327百万円増加となり、その主な要因は、現金及び預金が2,618百万円、棚卸資産が774百万円減少した一方、売上債権が5,146百万円増加したことによるものです。固定資産は80,002百万円で、前連結会計年度末に比べ4,233百万円の増加となり、その主な要因は、有形固定資産が3,260百万円、その他に含まれる繰延税金資産が801百万円増加したことによるものです。

#### （負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は83,043百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,623百万円の増加となりました。流動負債は60,996百万円で、前連結会計年度末に比べ1,719百万円増加となり、その主な要因は、短期借入金が3,235百万円減少した一方、仕入債務が2,566百万円、その他に含まれる設備債務が557百万円、同じく未払金が441百万円、未払費用が350百万円、未払消費税等が392百万円、預り金が124百万円増加したことによるものです。固定負債は22,046百万円で、前連結会計年度末に比べ904百万円の増加となり、その主な要因は、長期借入金が840百万円増加したことによるものです。

#### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は60,587百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,937百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金が770百万円、為替換算調整勘定が3,265百万円増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末41.24%から42.10%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,041百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には9,949百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、7,442百万円（前年同四半期は4,265百万円の増加）となりました。これは主に、売上債権の増加額4,108百万円等の資金減少要因に対し、税金等調整前四半期純利益529百万円、減価償却費6,284百万円、棚卸資産の減少額1,466百万円、仕入債務の増加額2,007百万円、未払金の増加額396百万円、未払消費税等の増加額456百万円等の資金増加要因があったことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、6,105百万円（前年同四半期は4,457百万円の減少）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出412百万円、有形固定資産の取得による支出5,678百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、4,612百万円（前年同四半期は1,091百万円の減少）となりました。これは主に、短期借入れによる収入54,328百万円、長期借入れによる収入6,100百万円の資金増加要因に対し、短期借入金の返済による支出57,739百万円、長期借入金の返済による支出6,489百万円の資金減少要因があったことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月18日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2023年10月25日公表の「営業外収益、特別損失の計上及び2024年3月期連結業績予想（第2四半期累計・通期）の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,991	10,372
受取手形、売掛金及び契約資産	27,140	31,581
電子記録債権	4,116	4,822
商品及び製品	6,304	5,440
仕掛品	5,637	5,655
原材料及び貯蔵品	3,462	3,532
その他	1,823	2,420
貸倒引当金	△176	△197
流動資産合計	61,299	63,627
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,521	13,979
機械装置及び運搬具（純額）	36,362	36,883
土地	5,076	5,139
建設仮勘定	7,221	9,359
その他（純額）	7,721	7,802
有形固定資産合計	69,903	73,163
無形固定資産	1,642	1,653
投資その他の資産		
投資有価証券	1,261	1,340
その他	2,978	3,860
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	4,223	5,185
固定資産合計	75,769	80,002
資産合計	137,069	143,630
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,670	14,051
電子記録債務	9,144	9,330
短期借入金	18,599	15,363
1年内返済予定の長期借入金	10,600	10,203
未払法人税等	147	187
賞与引当金	1,530	1,623
製品保証引当金	53	65
その他	7,532	10,171
流動負債合計	59,277	60,996
固定負債		
長期借入金	14,319	15,160
長期未払金	123	121
退職給付に係る負債	3,305	3,348
その他	3,393	3,415
固定負債合計	21,142	22,046
負債合計	80,419	83,043

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,964	6,964
資本剰余金	10,206	10,223
利益剰余金	30,454	31,224
自己株式	△58	△294
株主資本合計	47,566	48,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	538	611
為替換算調整勘定	9,026	12,292
退職給付に係る調整累計額	△604	△553
その他の包括利益累計額合計	8,961	12,351
新株予約権	121	117
純資産合計	56,649	60,587
負債純資産合計	137,069	143,630

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	66,536	77,750
売上原価	62,585	71,397
売上総利益	3,950	6,353
販売費及び一般管理費	5,148	5,752
営業利益又は営業損失(△)	△1,198	601
営業外収益		
受取利息	19	55
受取配当金	23	24
為替差益	436	466
スクラップ売却益	118	132
雇用調整助成金	113	—
その他	20	53
営業外収益合計	731	732
営業外費用		
支払利息	335	374
その他	19	20
営業外費用合計	354	394
経常利益又は経常損失(△)	△820	938
特別利益		
固定資産売却益	55	12
投資有価証券売却益	—	34
補助金収入	69	73
特別利益合計	125	119
特別損失		
固定資産除売却損	63	107
中国事業関連損失	—	422
特別損失合計	63	529
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△759	529
法人税、住民税及び事業税	254	212
法人税等調整額	△182	△583
法人税等合計	71	△370
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△830	900
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△830	900

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△830	900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△111	73
為替換算調整勘定	6,230	3,265
退職給付に係る調整額	47	51
その他の包括利益合計	6,166	3,390
四半期包括利益	5,335	4,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,335	4,290
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△759	529
減価償却費	6,217	6,284
賞与引当金の増減額(△は減少)	△100	77
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1	9
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	63	80
受取利息及び受取配当金	△42	△80
支払利息	335	374
為替差損益(△は益)	△415	△155
有形固定資産除売却損益(△は益)	7	95
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△34
補助金収入	△69	△73
雇用調整助成金	△113	—
中国事業関連損失	—	422
売上債権の増減額(△は増加)	265	△4,108
棚卸資産の増減額(△は増加)	△90	1,466
仕入債務の増減額(△は減少)	△302	2,007
未払金の増減額(△は減少)	△89	396
未払消費税等の増減額(△は減少)	△344	456
その他	149	257
小計	4,714	8,006
利息及び配当金の受取額	35	80
利息の支払額	△322	△375
法人税等の支払額	△319	△292
法人税等の還付額	15	156
特別退職金の支払額	—	△170
補助金の受取額	142	38
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,265	7,442
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△412
有形固定資産の取得による支出	△4,465	△5,678
有形固定資産の売却による収入	53	17
投資有価証券の売却による収入	—	50
その他	△45	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,457	△6,105
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	79,703	54,328
短期借入金の返済による支出	△82,532	△57,739
長期借入れによる収入	6,440	6,100
長期借入金の返済による支出	△4,439	△6,489
自己株式の取得による支出	△0	△282
自己株式取得のための預け金の支出	—	△218
配当金の支払額	△128	△129
その他	△134	△181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,091	△4,612
現金及び現金同等物に係る換算差額	936	233
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△346	△3,041
現金及び現金同等物の期首残高	9,356	12,991
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,009	9,949

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2023年4月27日開催の取締役会において自己株式の取得（取得期間2023年5月19日～2023年12月31日）を決議し、当第2四半期連結累計期間においては自己株式282百万円（391,200株）の取得を実施いたしました。

(自己株式の処分)

当社は、2023年6月22日開催の取締役会において株式報酬としての自己株式の処分を決議し、当第2四半期連結累計期間に自己株式の処分を実施いたしました。この処分により自己株式は43百万円（85,015株）減少しました。

(別途積立金の取り崩し)

当社は、2023年5月18日開催の取締役会において今後の経営環境の変化に対応した株主還元、機動的な資本政策を可能とすることを目的に別途積立金の取り崩しを決議し、同日付で別途積立金2,000百万円を取り崩し、繰越利益剰余金の欠損補填に充当いたしました。

なお、株主資本の合計額への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	28,109	17,016	15,695	3,920	1,794	66,536
外部顧客への売上高	28,109	17,016	15,695	3,920	1,794	66,536
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,408	11	1,278	761	2	3,462
計	29,518	17,028	16,973	4,681	1,796	69,998
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△423	△713	△250	152	111	△1,122

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,122
セグメント間取引消去	△75
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,198

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	31,282	22,971	16,302	3,509	3,684	77,750
外部顧客への売上高	31,282	22,971	16,302	3,509	3,684	77,750
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,624	2	891	1,294	25	3,838
計	32,906	22,973	17,194	4,803	3,710	81,589
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	181	693	△988	88	487	462

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	462
セグメント間取引消去	138
四半期連結損益計算書の営業利益	601

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ダイカスト事業 アジア」セグメントにおいて、量産計画が中止となったダイカスト製品に係る金型含む有形固定資産について、324百万円の減損損失を計上しております。